

授業科目名	臨床実習	授業形態	実習	配当学期	3年(前期・後期)
担当教員名	上村朋久、仲山晃生、島本裕士、春芳準朗	単位数	12単位	時間数	480時間
概 要	<p>【テーマと目標】 学校で学んだ知識を臨床の場で実際に行い、言語聴覚士としての必要な臨床的問題解決能力を身に付ける。また、臨床場面で交流を通じて、人間性豊かな言語聴覚士を目指す。</p> <p>【内容と計画】 失語症、運動性構音障害、嚥下障害、言語発達障害などの利用者に対して、治療や訓練過程の方法を学ぶ。</p>				
評価方法	実習指導者の評価に基づき、学科で合否の判断を行う。(最終評価は3年後期)				
教科書 参考図書	[教科書] 特になし [参考図書] 特になし				
履修上の 留意点	今まで学習した知識を使いますので、赴く施設の特性に応じた学習をしておくこと。				
メッセージ	長期にわたり実習を通じて臨床能力を養う授業となります。評価・訓練から症例報告書などを作成する過程が含まれていますので、毎日の積み重ねが大切です。				